日本文学研究学域 入学前課題講評

日本文学研究学域が提示した入学前課題は、下記の通りでした。

以下の著作のうち、いずれか一冊を熟読し、著者の述べるところを要約した上で、 それに対する自分の考えを具体的な根拠を挙げて述べてください。なお、要約は400 字程度、自分の考えは1000字程度とします。

①笹原宏之著『漢字の歴史』 ちくまプリマー新書

②井上真琴著『図書館に訊け!』 ちくま新書

③吉本隆明著『日本近代文学の名作』 新潮文庫

④小西甚一著『日本文学史』 講談社学術文庫

提出されたレポートの内、②『図書館に訊け!』を選択した人が最も多く、過半数にのぼりました。次いで、①『漢字の歴史』、③『日本近代文学の名作』、④『日本文学史』の順に、選択者が多かったです。文学部の学修には図書館が不可欠であり、みなさんも今後、四年間以上に亘って図書館に親しんでいくことになると思います。②『図書館に訊け!』は図書館の取扱説明書のような本です。未読の人は、入学までに必ず読んでおきましょう。

レポートの多くは、図書館・漢字・日本文学(古典・近代)について、それぞれの著作を 熟読した上で、自らの経験を踏まえながら、新たに気づいたことや理解を深めることができ た点、今後の大学での研究において留意しておきたい事項などを丁寧に論述していました。

レポートからは、図書館の役割や文字(言語)の歴史、高等学校の国語では習わない文学の読解方法など、新鮮な驚きをもって各著作を読んでくれたことが看取されました。また、これらの本で学んだことを、大学の研究にどのように活かしていくかを具体的に考えたものもありました。

提出されたレポートの多くは課題の意図を理解して的確に論述できていましたが、一部、課題図書の要約と自分の考えとの区別が明確でないもの、あるいは自分の考えを述べる際に具体的な根拠(課題図書・参考文献の引用)がないものもありました。また、日本語の執筆ルールや段落の意味を理解していないもの、話し言葉と書き言葉の違いを認識できていないものもありました。入学までに再度、自身の書いたレポートを読み直し、適切に執筆できていたかを確認して、不十分な点を学習しておいてください。

課題図書として挙げた 4 冊は、いずれも日本文学研究学域で学ぶにあたって重要な著作です。一回生時には、全員が文学(古典・近代)・日本語(文字)・図書館学について学びます。選択しなかった 3 冊についても、入学までに全て、必ず読了しておいてください。

今回の課題を通して学んだことや考察したこと、また興味・関心を呼び起こしたものをさらに深めて、大学入学後の研究に繋げていってもらえることを期待します。